

郡山の歴史と 発展の礎

～SDGs 未来都市こおりやま～

PHOTO : photo_booooy (郡山市観光協会公式SNSアンバサダー) ©猪苗代湖

も く じ



- | | | |
|---|------------|------|
| 1 | 本市の概要 | P. 3 |
| 2 | 歴史と発展の礎 | P. 9 |
| 3 | 本市の魅力 | P.27 |
| 4 | これからのまちづくり | P.40 |



1 本市の概要

P. 3

2 歴史と発展の礎

P. 9

3 本市の魅力

P. 27

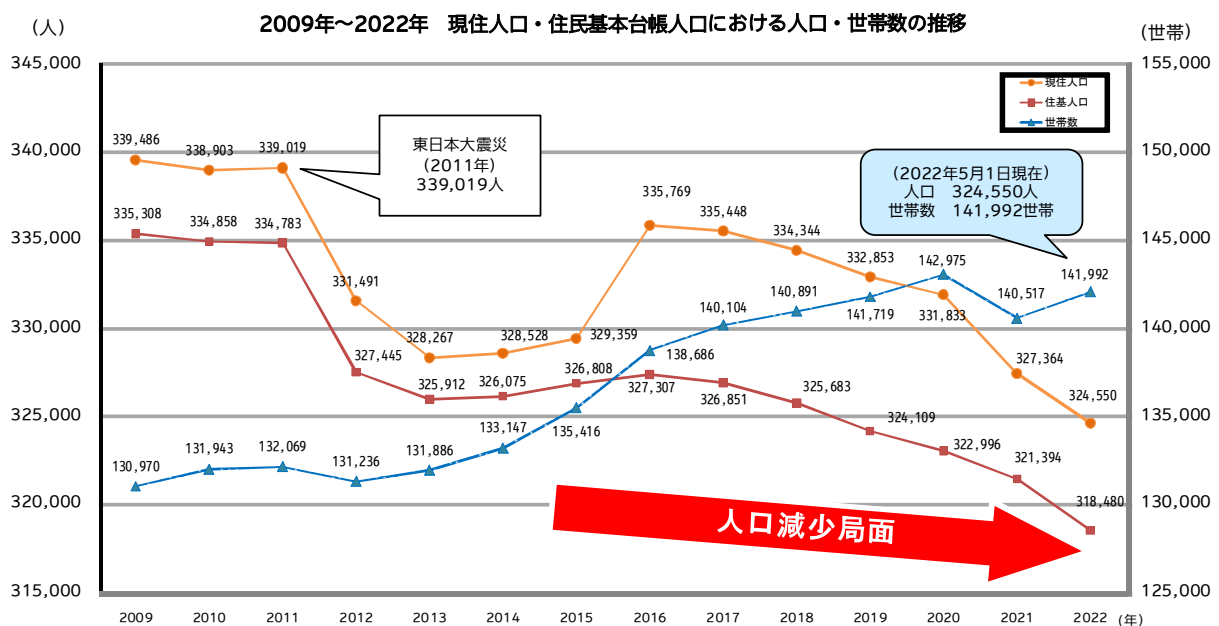
4 これからのまちづくり

P. 40

2

1 本市の概要

- 市域面積 757.20Km²(東西 46.78 k m、南北 39.95 k m)
- 人口(2022.5.1現在) 324,550人(東日本大震災前(2011年)比で△14,469人)



3

1 本市の概要

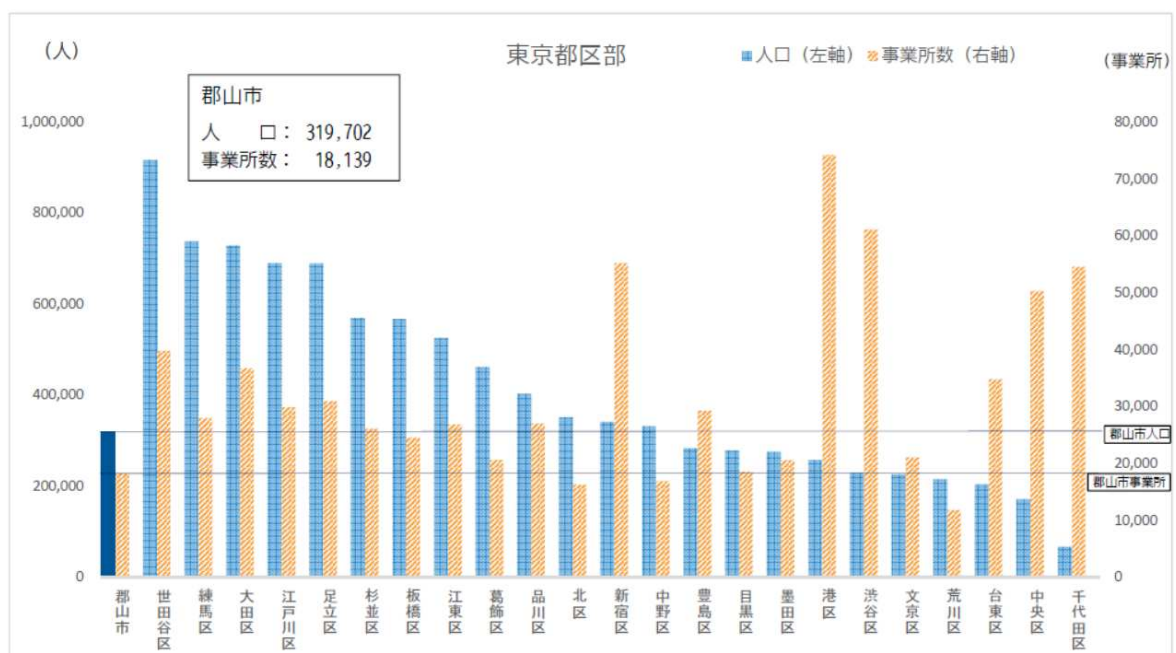
市域面積と人口の推移

	面積 (k m ²)	人口 (人)	備考
大正13年 (1924年)	13.18	28,908	市制施行 (小原田村合併)
大正14年 (1925年)	19.85	31,242	桑野村合併
昭和30年 (1955年)	55.74	95,161	富田村・大槻町合併後
昭和35年 (1960年)	56.40	102,636	旧郡山
昭和40年 (1965年)	729.43	213,771	安積郡 9 町村 田村郡 3 町村合併後
平成11年 (1999年)	757.06	326,833	H11猪苗代湖境界確定による
平成26年 (2014年)	757.20	338,712	測定方法の変更による (紙の図面→GIS)

4

1 本市の概要

郡山市と東京都内区市町村 人口・事業所数比較

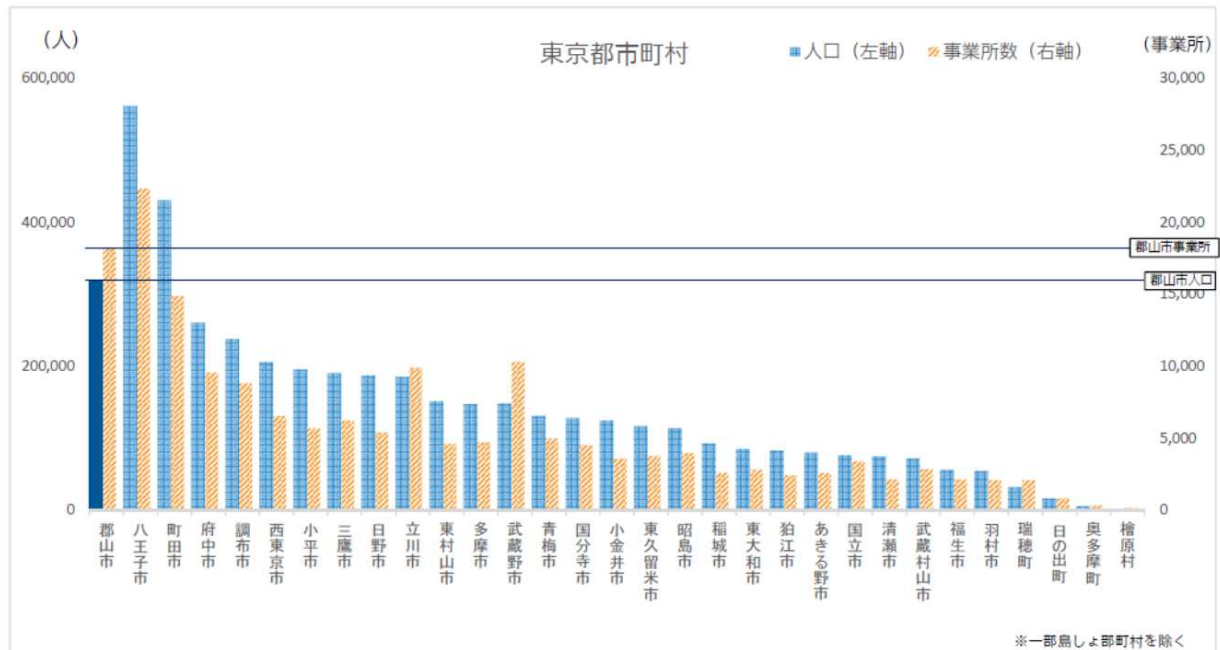


出典：人口「2022(令和4)年1月1日 住民基本台帳人口」
事業所数「2019(令和元)年6月1日 経済センサス-基礎調査」

5

- ・ 郡山市と都内23区との人口の比較では、郡山市が豊島区以下10区よりも人口が多い
- ・ 事業所数の比較では、郡山市より少ない区は3区にとどまる

1 本市の概要



出典：人口「2022(令和4)年1月1日 住民基本台帳人口」
事業所数「2019(令和元)年6月1日 経済センサス-基礎調査」

6

- ・郡山市と都内市町村との比較において、郡山市の人口より多い市町村は八王子市（561,758人）、町田市（430,385人）のみ
- ・事業所数のみの比較で郡山市を超えるのは、八王子市（22,342事業所）のみ

1 本市の概要

■本市の特徴を示すキーワード

東日本のクロスポイント

経済県都

知の結節点

開拓者精神

S D G s 未来都市

音楽都市(楽都)

7



1 本市の概要

P. 3

2 歴史と発展の礎

P. 9

3 本市の魅力

P. 27

4 これからのまちづくり

P. 40

8

2 歴史と発展の礎

■明治以前の郡山

◆古墳時代 大安場古墳群…東北最大の前方後方墳

◆奈良・平安時代 安積郡に「郡衙」が清水台に置かれる
→「郡山」地名の由来
「あさかやまの歌」の木簡が発見される

◆鎌倉時代 荒井猫田遺跡から町跡が確認される

◆江戸時代 奥州街道の宿駅



発見された木管



郡山宿錦絵図

9

2 歴史と発展の礎

西暦	年代	
一八七三	明治 六	開成社を組織、 安積開拓 に着手
一八七六	九	明治天皇行幸
一八七八	二	ファンドールン 来郡、 疏水路測量図検討
一八八二	一五	郡役所が開成館から郡山村陣屋 跡に移転、 安積疏水完成
一八八九	二二	市制町村制が施行され、郡山村は 町 となる。
一八九九	三二	郡山町にはじめて 電灯 がつく。
一九〇二	三五	自転車 が出現
一九〇九	四二	郡山町ではじめて 電話 が開通する。



オランダ人技師ファンドールン

10

2 歴史と発展の礎

■安積開拓と安積疏水の開さく

◆安積開拓

1873(明治6)年 旧二本松士族による現在の開成地区の開拓
 ※阿部茂兵衛ら富商25人が開成社を結成し、開拓を推進
 ※明治政府による士族授産の大規模な開拓の契機

1878(明治11)年 **国営の開拓事業(第1号)「安積開拓」を開始**
 ※全国**9藩**(岡山、久留米、土佐、鳥取、松山、米沢、会津、二本松、棚倉)から
 約**2,000人**が入植(当時の郡山村の人口は5,000人)



開拓の拠点となった開成館



開拓に挑んだ開成社員

11

2 歴史と発展の礎

■安積開拓と安積疏水の開さく

◆安積疏水の開さく

1879(明治12)年から3年間、延べ85万人を動員

1882(明治15)年8月完成

※原野に水が引かれ多くの田畑が作られる

※桑が植栽され養蚕が盛んとなる

1899(明治32)年「沼上発電所」が完成

⇒日本初の長距離高压送電



12

木管だった当時の水道管



郡山発展の原動力となった沼上発電所

2 歴史と発展の礎

西暦	一九二四	一九二五	一九三五	一九四五	一九五二	一九五四	一九五五	一九六五
	大正一三	一四	一〇	二〇	二七	二九	三〇	四〇
小原田村を合併し市制を施行する。								
桑野村を合併								
国勢調査の結果、 人口五万四七〇九人(県下一の人口)								
郡山市内大空襲、 五三〇余名の犠牲者が出る。								
第七回国体が郡山で行われる。 開成山競技場完成								
富田村を編入合併								
大槻町を合併								
(9町村) (3町村) 安積郡・田村郡を合併								

13

2 歴史と発展の礎

市町村合併

1924(大正13)年 9月1日小原田村を合併し市制施行

1925(大正14)年 桑野村を編入合併

1954(昭和29)年 富田村を編入合併

1955(昭和30)年 大槻町を編入合併

1965(昭和40)年 安積郡全町村(9町村) 当時の合併図
(安積町、三穂田村、逢瀬村、片平村、喜久田村、
日和田町、富久山町、湖南村、熱海町)

田村郡(3町村)を編入合併
(田村町、西田村、中田村)



当時の合併図

14

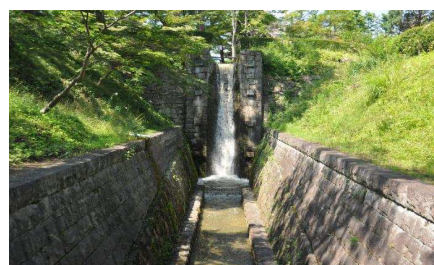
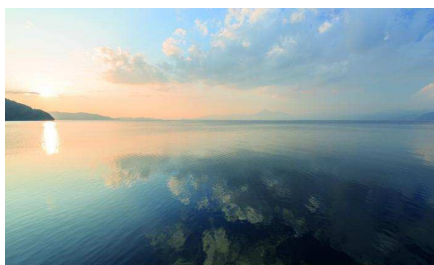
2 歴史と発展の礎

■安積開拓と安積疏水の開さく

◆日本遺産認定（2016年4月25日）

未来を拓いた「一本の水路」

～大久保利通“最後の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代



15

～郡山駅前の今昔～

1939
(昭和14)年 →



1968
(昭和43)年 →



↑
1984
(昭和59)年



← 2008
(平成20)年

16

～郡山市役所の今昔～



以前の市役所はどこにあった
のかな～？



1924(大正13)年市制施行当時



1964(昭和39)年当時



現在 (左上は西庁舎)

17

2 歴史と発展の礎

■市のシンボル

◆市章



- 1930(昭和5)年に制定
- 「山」の字を図案化
- 藩政時代から郡山代官支配下の「郡山」の標識として使用

◆シンボルマーク



- 1995(平成7)年に制定、郡山の「郡」をデザイン
- 中心の赤い円は「輝く太陽」
- 楕円は豊かな緑が映る「猪苗代湖」
- 青のラインは「安積疏水」
- 緑のラインは「自然」
- 人とまちが調和した理想的なイメージ

18

2 歴史と発展の礎

■その他の主な歴史

- | | |
|-------------|------------------|
| 1964(昭和39)年 | 常磐・郡山地区新産業都市に指定 |
| 1974(昭和49)年 | 市制施行50周年 市の花木鳥制定 |
| 1986(昭和61)年 | 郡山地域テクノポリス承認 |
| 1997(平成9)年 | 中核市移行、市保健所オープン |
| 2008(平成20)年 | 音楽都市宣言 |
| 2018(平成30)年 | 連携中枢都市宣言 |



市の花 ハナカツミ



市の木 ヤマザクラ



市の鳥 カッコウ

19

2 歴史と発展の礎

■ 高速交通網の発達

◆陸の港

～福島県の中央に位置し、交通の要衝～

1975(昭和50)年 東北自動車道開通(郡山-白石間)

1982(昭和57)年 東北新幹線開通

1990(平成 2)年 磐越自動車道開通(郡山-磐梯熱海間)

1993(平成 5)年 福島空港開港

2017(平成29)年 郡山富田駅開業

2019(平成31)年 郡山中央スマートインターチェンジ開通



東北新幹線



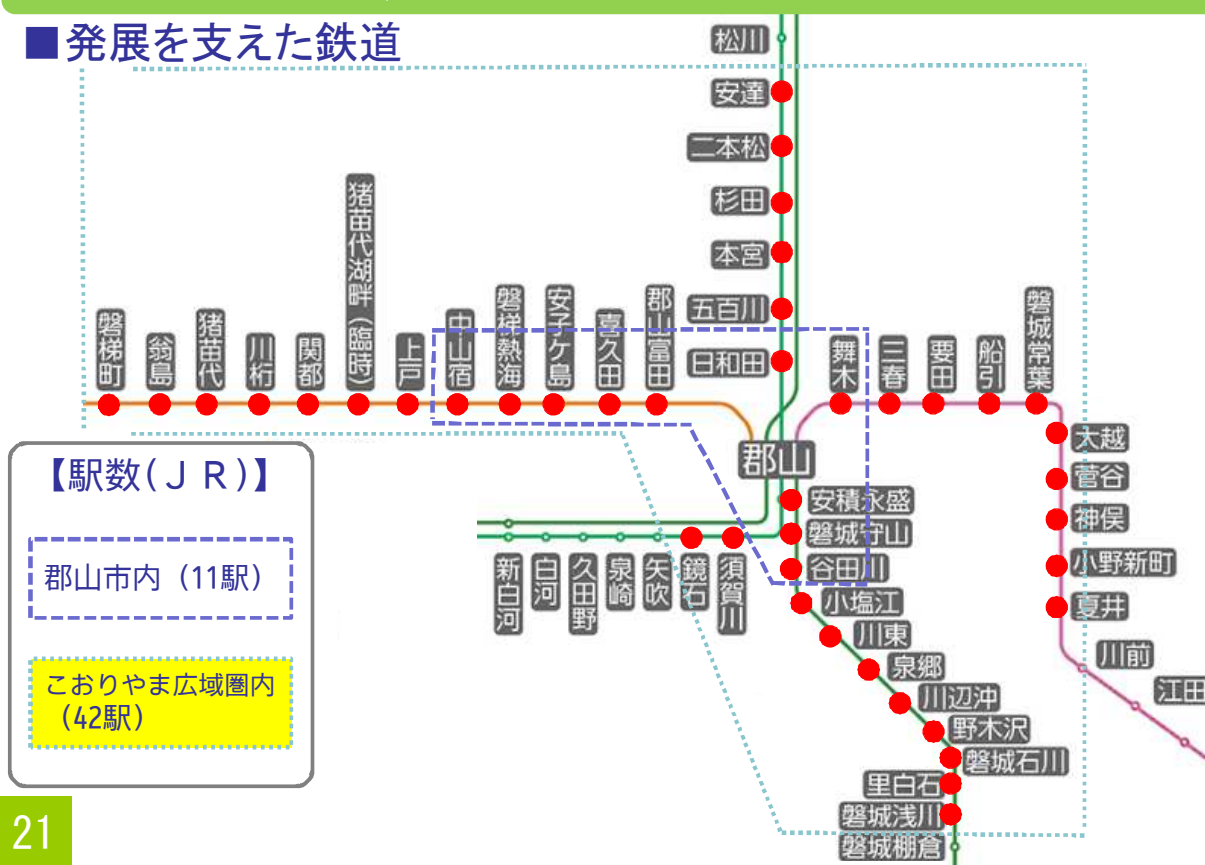
福島空港



郡山中央スマートIC

2 歴史と発展の礎

■発展を支えた鉄道



2 歴史と発展の礎

■経済県都

◆「農業・商業・工業」がバランスよく発展しているまち

- ・ 農業 米の収穫量（2020年）
44,300 t（全国15位、県内1位）

資料：東北農政局福島県拠点

- ・ 商業 年間商品販売額（2016年）
1兆4,030億円（県内1位、東北2位）

資料：経済センサス

- ・ 工業 製造品出荷額（2020年）
6,321億円（県内2位、東北3位）

資料：工業統計調査



ASAKAMAI 887



郡山最大のイベントうねめまつり

◆産業の6次化

「農業・商業・工業」に加え、
「観光」を新たな基幹産業に位置づけ

22

2 歴史と発展の礎

■地域産業の6次化推進

◆ふくしま逢瀬ワイナリー



◆鯉に恋する郡山プロジェクト



鯉に恋する郡山
We love koi in KORIYAMA



23

2 歴史と発展の礎

■主な災害の歴史

発生年	項 目
1723年	阿武隈川が氾濫、上行合村から郡山村の間が湖水
1724年	大雨により守山藩に被害
1779年	阿武隈川が氾濫し横塚が水没
1784年	阿武隈川の流れを変えるほどの洪水
1812年	大雨により阿武隈川、逢瀬川が氾濫
1858年	大水により阿武隈川沿いの作物全滅
1864年	阿武隈川が氾濫し川沿いの村々に被害
1902年	冷害日照不足で米皆無、大暴風雨で被害大
1945年	郡山空襲
1986年	8.5水害、堤防・護岸決壊380ヶ所
2004年	台風23号による豪雨被害
2011年	東日本大震災、台風15号による被害
2019年	令和元年東日本台風
2021年	福島県沖地震

24



ちよっとbreak

■郡山のご当地スイーツ



三万石「ままだおる」



柏屋「薄皮饅頭」



かんのや「家伝ゆべし」



「ままだおる」の **天ぷら**を出す居酒屋があるって本当！？

25





1 本市の概要

P. 3

2 歴史と発展の礎

P. 9

3 本市の魅力

P.27

4 これからのまちづくり

P.40

26

3 本市の魅力

■魅力ある都市空間と賑わうまち

- ・経済県都
- ・コンベンション機能の充実
- ・魅力ある地域資源の充実



■子育て、福祉、医療の充実

- ・ペップキッズこおりやま
- ・ニコニコこども館
- ・郡山市医療介護病院 など



27

3 本市の魅力

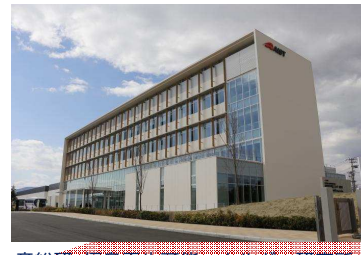
■電力のまちから再生可能エネルギー、医療機器開発のまちへ



古墳時代（3世紀中頃～7世紀頃）前期の大安場古墳



激しい地震により1階部分がつぶれたビル



産総研 福島再生可能エネルギー研究所（FREIA）2014年4月開所



新産業発展の礎を築いた沼上発電所

6. 震災からの復興、再生可能エネルギーの推進と医療機器関連産業の集積

5. 2011年の東日本大震災と原子力発電所事故

4. 人が集い、学校や銀行の設立、鉄道の開通、福島の中心へ

3. 水力発電により紡績等が発展、新産業革命、保土谷化学工業、日東紡績

2. 安積開拓と安積疏水開さく事業による近代化（1882年）、米、養蚕、鯉の生産が盛んに

1. 奥州街道の宿場町（1603年～）



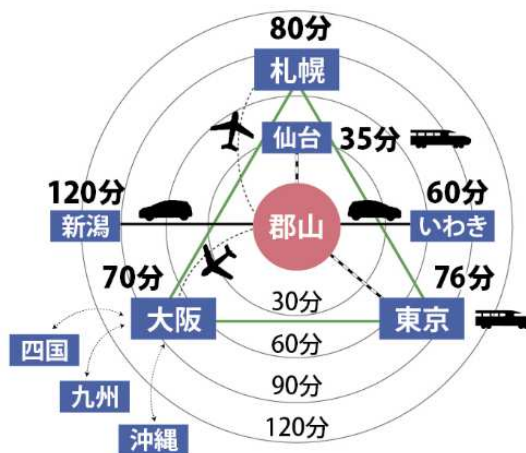
ふくしま医療機器開発支援センター（FMDDSC）2016年11月開所

28

3 本市の魅力

■時間軸で見た郡山

～高速交通網の結節点 抜群の立地優位性～



時間軸で見る郡山のロケーション



福島空港からの定期便
国内線 札幌、大阪
(郡山駅まで車で40分)



東北自動車道、磐越自動車道が交差
4つのインターチェンジが活用可能



東京から最短76分
郡山ー東京
1日上下約100本運行

29

3 本市の魅力

■スマートICの整備と新駅の設定



- 郡山中央スマートインターチェンジ 2019(平成31)年.1.13開通
 - ・市街地へのアクセスの向上
 - ・災害時における車両の円滑な移動を確保

- 新駅「郡山富田駅」の設置 2017(平成29)年.4.1開業
 - ・公共交通の利用促進と地域活性化
 - ・災害時の物資輸送ルートや避難者の移動手段の確保

30

3 本市の魅力

■楽都郡山 ～東北のウィーン～

- ・音楽都市宣言 2008(平成20)年3月24日
- ・大活躍の学校音楽
- ・音楽による魅力ある郡山の情報発信



郡山第二中学校の管弦楽部



L I V E福島 風とロックSUPER野馬追

31

3 本市の魅力

■姉妹都市

【奈良市】

1971(昭和46)年 采女伝説が取り持つ縁



奈良市

【久留米市】 1975(昭和50)年

【鳥取市】 2005(平成17)年

安積開拓に尽力したという
歴史的背景が取り持つ縁



久留米市



鳥取市

【ブルメン市(オランダ王国)】

1988(昭和63)年

安積疏水の開さくに尽力した
オランダ人土木技師

ファン・ドールンの生地



ファン・ドールンの生家

32

3 本市の魅力

■友好都市

◆つくば市と友好都市/2014(平成26)年

○つくば市に中核研究拠点を置く

産業技術総合研究所の

福島再生可能エネルギー研究所

開設がきっかけ



友好都市提携協定を締結

◆産業技術総合研究所

福島再生可能エネルギー研究所

○2014(平成26)年4月 開設

○世界最先端の研究開発や実用化・
市場化に向けた取り組みを推進



西部第二工業団地に開設

33

3 本市の魅力

市制施行90周年・合併50年記念

○2014(平成26)年は、市制施行から
90周年、安積郡全9町村及び
田村郡3町村と合併してから
50年目の記念すべき年

○様々な記念事業や記念式典を行い、
市民全員でお祝い



記念式典の様子
(2014年11月4日 文化センター)



輝く未来 とともに奏でる 郡山

~ Make the future, Feel the beat ~

34

⇒2024(令和6)年には市制施行100周年!!

3 本市の魅力

フロンティア大使 (16組)

各界で活躍する
郡山にゆかりのある方で、
市のイメージづくりや
PR活動に
協力していただけてます。

2019年1月25日
GReeeeNが就任!!



大使プロフィール		大使名	大使プロフィール	大使名
国家・国際関係				
大使		三浦 実(さと みのる)		
スポーツ振興				
大使		三浦 実(さと すみ)	大使	
ラグビー		大澤 昭(ひろせ ひろし)		
音楽・芸術文化振興				
大使		三浦 実(さと ひろし)	大使	
音楽家		三浦 実(さと ひろし)	大使	
大使		三浦 実(さと ひろし)	大使	
ダンス		三浦 実(さと ひろし)		
食・食文化振興				
大使		三浦 実(さと ひろし)	大使	
その他				
大使		三浦 実(さと ひろし)	大使	

35

3 本市の魅力

■市のイメージキャラクター

郡山市イメージキャラクターのがくとくんと妹のおんぷちゃん

(2010年3月22日生まれ)

(2011年11月12日生まれ)



- ・本市のイメージアップのために全国で活躍中！
- ・ご当地キャラ総選挙2013 全国第5位！
- ・がくとくんグッズの販売
- ・Twitter、Facebookによる情報発信
- ・がくとくんテーマソング
「羽ばたけ！がくとくん」制作
- ・がくとくんLINEスタンプ好評発売中



36

ミュージックビデオはYouTubeで視聴可能



可愛らしいLINEスタンプやグッズがたくさん♪

3 本市の魅力

■2018（平成30）年2月2日

セーフコミュニティ国際認証取得

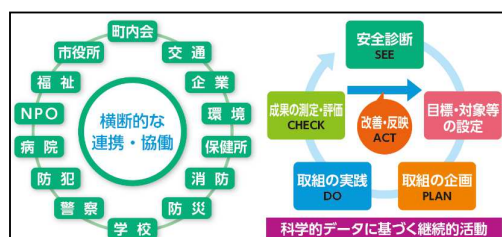
※日本で15番目（東北で2番目、福島県で初）、世界で391番目
※国際認証は5年ごとに更新します



セーフコミュニティとは

データからけがや事故の原因を究明し、地域が一体となり
安全・安心なまちづくりに取り組む地域のことです。

キーワードは「データ」と「協働」



データをもとに考察

郡山市の病気以外の死因 2014～2018年の累計

1位	自殺	301人
2位	不慮の窒息	143人
3位	転倒・転落	102人

自殺対策委員会
による啓発活動



ショッピングセンターなどを活用したパネル展示



郡山駅を利用した啓発

37

3 本市の魅力

誰一人取り残されないSDGs未来都市こおりやまの推進



38

2019年度「SDGs未来都市」選定授与式/(2019年7月1日：総理官邸)
(中央：品川 萬里 郡山市長)



1 本市の概要

P. 3

2 歴史と発展の礎

P. 9

3 本市の魅力

P.27

4 これからのまちづくり

P.40

39

4 これからのまちづくり

未来の年表

何年頃	何が起きるのか
2024年	団塊世代がすべて75歳以上となり社会保障費が増大
2030年	東京近郊のベッドタウンがゴーストタウン化 IT人材が最大79万人不足
2040年	全国の自治体の半数近くが消滅危機 団塊ジュニア世代が大量退職で後継者不足が深刻化
2042年	日本の高齢者数がピーク
2050年	世界の人口が97億人程度となり食糧争奪が激化
2053年	日本の総人口が1億人を割り込む
2065年	現在の居住地域の20%が無人化、国境問題深刻化
2115年	日本の総人口が5,000万人程度に

40

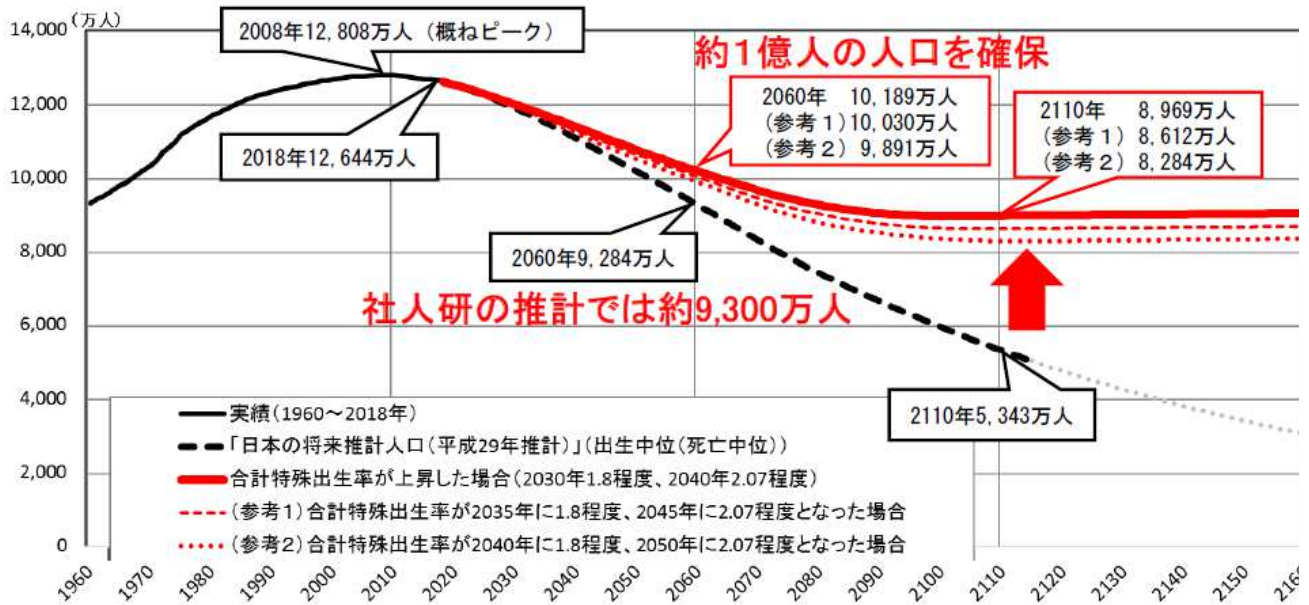
4 これからのまちづくり

徹底した市民参加による基本指針策定



41

4 これからのまちづくり



◆2018年：12,644万人 → 2060年：9,300万人（約28%の減少）

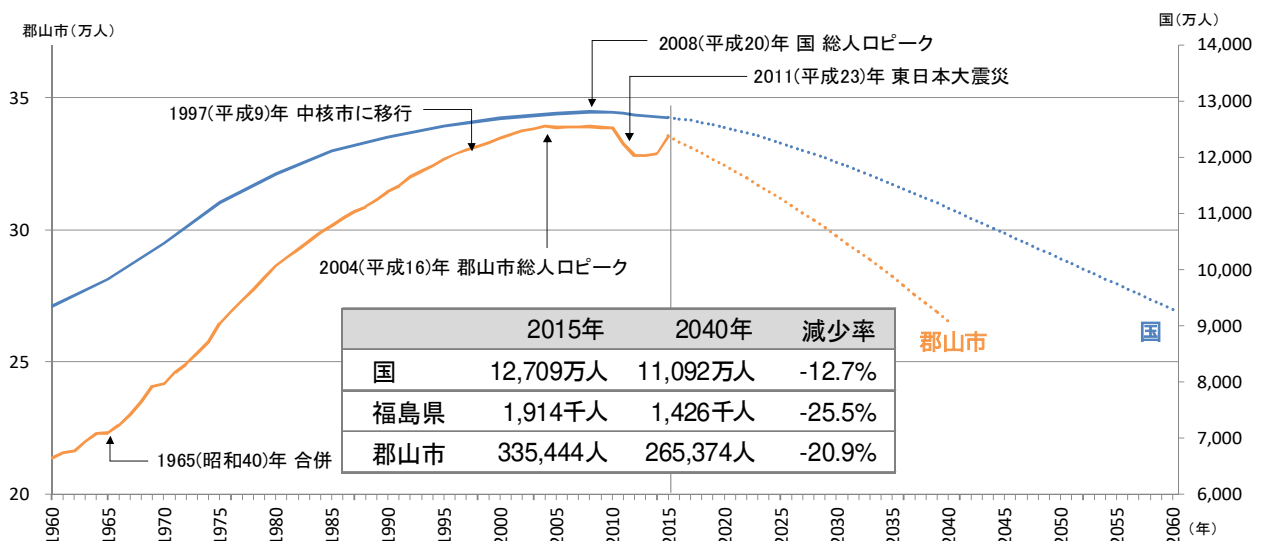
◆この全国的な傾向を郡山市に当てはめた場合

42

2018年：約33万人 → 2060年：約24万人

4 これからのまちづくり

国全体の人口減少率をさらに上回るペースで人口減少が進展



※国立社会保障・人口問題研究所のデータを基に、国提供(福島県改定)ワークシートにより推計

43

4 これからのまちづくり

■人口減少が将来に与える影響と将来展望

人口構造の変化が将来に与える影響

- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| ▶ 地域経済構造の変化に伴う生産・消費等の経済活動の変化 | ▶ 行政ニーズの構造変化に伴う公共サービス・施設の量質の変化 | ▶ 市税等歳入の減少・社会保障費等の増加による財政構造の変化 | ▶ 地域の文化、コミュニティ活動等の担い手減少、地域活力の低下 |
|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|



郡山市人口ビジョン

◆2040年以降も人口30万人規模であることが必要

- ・ 出産、子育て支援の充実 → 合計特殊出生率
- ・ 全世代の転出抑制、定住の増加 → 74歳までの社会移動率
- ・ 近年の外国人の増加傾向を将来推計に反映

1.8の実現 (2040年)
4ポイント改善 (2040年)

44

4 これからのまちづくり

本市の将来人口推計を踏まえた将来展望人口

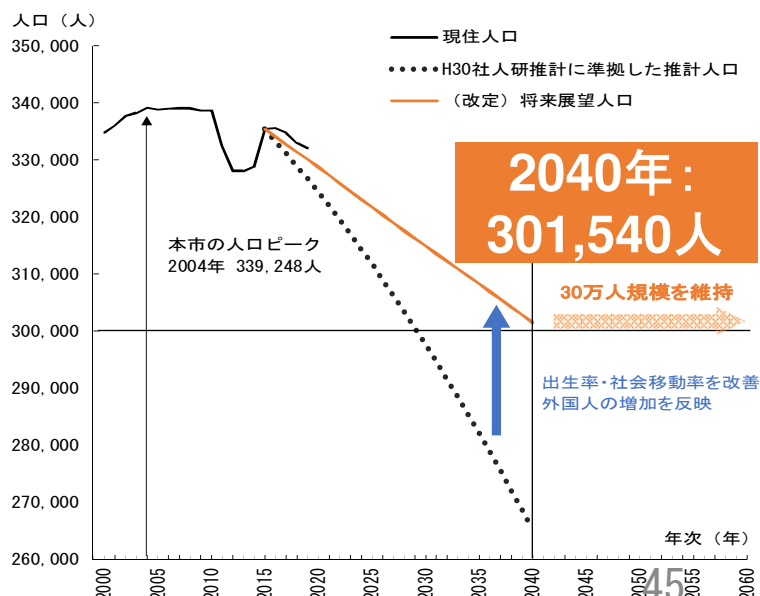
- ▶ 福島県の中核的機能であり中核市としての都市責任の遂行
- ▶ 「こおりやま広域圏」の中心市として圏域をリード
- ▶ SDGs未来都市としてSDGs理念の普及、気候変動に対応できる持続可能な地域づくりを発信

2040(令和22)年以降も人口30万人規模であることが必要

74歳までの社会移動率を段階的に改善(2040年時点で最大約4ポイント)
※前ビジョンの0~44歳を拡大

合計特殊出生率を段階的に改善(2014年 1.49を2040年 1.80へ)

新たに近年の外国人の増加傾向を将来推計に反映



45

4 これからのまちづくり

郡山市総合戦略（2020改訂版）

DXに対応した生産性の向上と魅力ある雇用環境の創出

- 1 圏域内外の多様な研究機関と連携した経営拡大や多角化、海外進出支援、起業・創業や地域企業の事業承継への環境整備と、安心して働ける良質な就業機会の創出

地域の魅力発信と「関係人口」の創出

- 2 安積疏水に代表される豊かな地域資源と拠点都市としての強みを生かし、多くの方が郡山市に「住む」・「訪れる」流れの創出、様々な地域とのつながりの創出と、人材の定着・還流の推進

切れ目無い子育て支援と女性・子育て世代の活躍推進

- 3 結婚・妊娠・出産・育児の希望をかなえ、もう一人人生子育てられる切れ目ない支援及び女性が社会参加できる環境の創出



「もう一人人生子育てられる」環境を整備します！



タブレット端末を活用した授業の様子

住民・企業が集う気候変動対応型まちづくりの推進

- 4 中枢中核都市として、ひとや企業が集い、安心して暮らせる気候変動対応型のまちづくりとセーフコミュニティの実現

あらゆる世代が居場所と役割を持ち生きいきと暮らせるまちづくり

- 5 社会全体で支えあい、誰もが将来に渡り安心して健やかに暮らせる「生涯現役の社会づくり」の実現

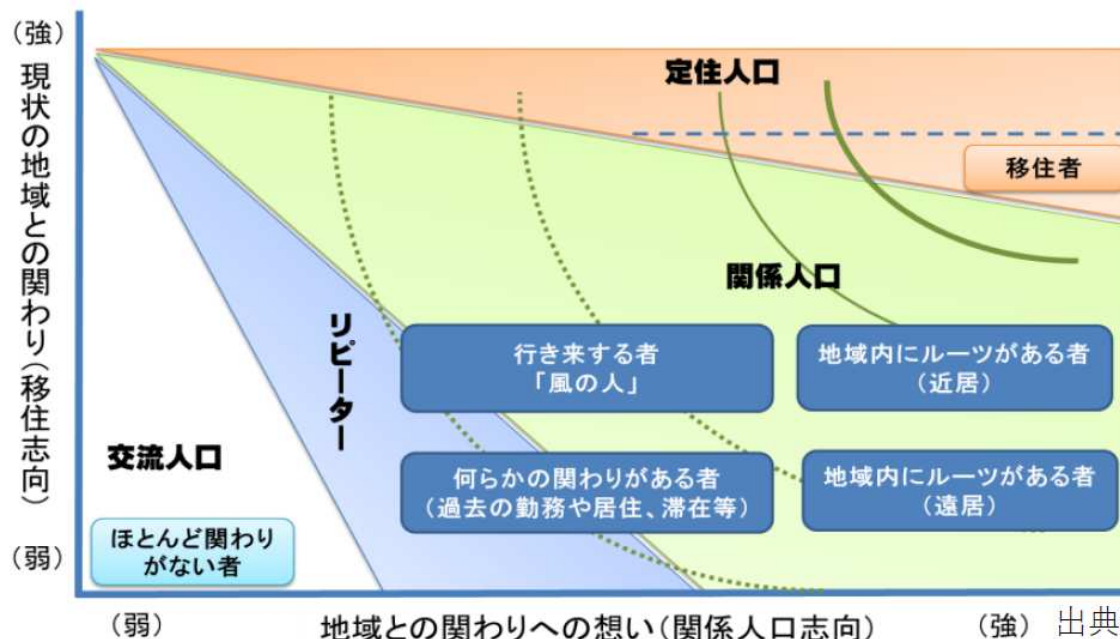
教育の質の向上と誰もが楽しく学べる環境づくり

- 6 ICTの進展やグローバル化に対応した、一人ひとりの心が充実する教育環境の整備と地域を担う人材の育成

46

4 これからのまちづくり

「関係人口」のイメージ図



47

4 これからのまちづくり

こおりやま広域連携中枢都市圏（こおりやま広域圏）

少子高齢・人口減少社会の進展が自治体共通の課題となる今日、地域を活性化し経済を持続可能なものとするため、連携中枢都市圏を形成し、広域的な地域課題解決に向けた取り組みを推進しています。

- ▼ 構成：5市8町4村（中心市：郡山市）
- ▼ 人口：約63万人（福島県の約1/3）
- ▼ 面積：約3,373 k m²（福島県の約1/4）

構成市町村（17）

郡山市	須賀川市	二本松市	田村市
本宮市	大玉村	鏡石町	天栄村
猪苗代町	石川町	玉川村	平田村
浅川町	古殿町	三春町	小野町
磐梯町（磐梯町が2022年3月に追加加入）			

48

4 これからのまちづくり

誰もがデジタルの恩恵を受ける「こおりやま」の実現

てのひらの上のデジタル市役所

プラットフォームをスマホへ（スマホファースト）



市民サービスの向上

場所や時間を選ばない利用者中心のサービス提供



行政事務の効率化

デジタルを徹底活用した事務処理によるムダの排除



生活の質の向上

だれでもデジタルの恩恵を受けられる社会の実現



49

4 これからのまちづくり

SDGs 未来都市の推進

2015年9月の国連サミットで採択。「誰一人取り残されない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のため2030年を期限とする17の国際目標



ロゴ：国連広報センター作成

50

4 これからのまちづくり

市制施行100周年記念トピックス



市制施行100周年に向けた取組み



1924（大正13）年9月1日の市制施行から100周年となる2024（令和6）年度に記念事業を開催し、先人の輝かしい功績をたたえとともに、市民の皆さま、事業者の皆さんとの協奏のもと、次の100年に向けたメッセージを全市民あげて発信していきます。

① 市制施行100周年記念プロモーション事業

若者を含めた多くの世代が参画する記念事業プロモーション委員会を設置し、先人の事業や志の承継など「恩送り」の考えのもと、プロモーション事業を実施します。【P74】



【安芸路水開き事業 1879年〜】

② 歴史の承継などの事業

★主な事業

- ・（仮称）歴史情報・公文書館施設整備事業【P33】
- ・開成館改修事業【P77】
- ・開成山地区スポーツ施設リノベーション事業【P35】



【開成地区スポーツ施設の再整備】



【SDGs未来都市選定2019年】



【セーフコミュニティ国際認証取得2018年】



【日本遺産認定2016年】



【郡山のあゆみ】

- 1924年9月1日
小原田村を合併し郡山町が市制施行
戸数7,163戸、人口39,003人
- 1974年
市制施行50周年
総合体育館オープン
- 1984年
市民文化センターオープン
- 1989年
カルチャーパークオープン
- 1997年
中核市移行
人口33万人突破
- 2001年
郡山駅西口再開発事業竣工
ビッグアイオープン
- 2008年
宮城県市町合併
- 2011年
東日本大震災発生
- 2016年
・未来を拓いた「一本の水路」のストーリー日本遺産認定
- 2018年
・セーフコミュニティ国際認証取得
- 2019年
・SDGs未来都市選定

51